

第6回（2015年度） 学会認定・臨床輸血看護師試験の結果

2016年3月29日

学会認定・臨床輸血看護師制度

協議会 会長 大戸 齊  
審議会 会長 田崎哲典  
試験委員長 梶原道子

(1) 筆記試験

1. 実施日、会場：平成27年11月8日（日）、大阪商工会議所
2. 時間、内容：2時間（10：00～12：00）  
多肢選択式問題40題（80点）、記述式問題2題（20点）
3. 受験者数：199名  
(受験申請者203名中、資格審査不合格者1名、受験辞退者3名を除く)
4. 成績：平均点77.1点、最高点98点、最低点52点、標準偏差7.9点
5. 筆記試験合格者数：196名

(2) 病院研修

1. 期間、会場：平成28年1月～3月において、1日間  
学会認定・臨床輸血看護士制度協議会の認定施設
2. 研修者数：197名  
(研修対象者は、筆記試験合格者196名と、昨年度の施設研修未了者3名の計199名であったが、2名が施設研修を辞退した)
3. 研修終了者数：197名  
(施設研修を受けた197名において、不合格と判定された者はなかった)

(3) 最終認定者数、認定率：197名、95.6%

(受験申請者203名＋前年度病院研修未修了者3名 に対する割合)

(4) 講評

大阪商工会議所を会場として、平成27年11月7日（土）に講習会が、8日（日）に筆記試験が行われた。講習会は7日、13時よりスタートし、6名の講師により途中で約20分の休憩を挟み、19時まで行われた。テーマは産科婦人科、周術期、救急、内科、小児の各領域における輸血療法とした。筆記試験は8日に行われ、講習会参加者199名全員が受験した。結果は上記の如くで、平均点-2SDは61.3点であり、196名が合格となった。

病院研修は全国の指定施設で行われた。評価は、①輸血の意義と目的、②血液製剤の取り扱い、③輸血看護、④輸血副作用、⑤輸血検査、⑥血液製剤の準備・払い出し・管理、⑦症例検討の計7項目について、それぞれ(a)特に優れている、(b)優れている、(c)良い、(d)劣る、の4段階で行われた。総合評価は(a)32.5%、(b)62.9%、(c)4.6%で、(d)判定は皆無であった。但し、①～⑦の項目別では、今回も特に⑤輸血検査において、(a)29.5%、(b)54.8%、(c)14.2%、(d)1.5%と、(a)が少なく、(c)＋(d)の割合が多かった。

以上、病院研修を行った197名の修了が確認され、第6回学会認定・臨床輸血看護師として認定された。